

February 11, 2008

JAWIC

Seattle News

ティンバーウェスト社、エルクフォールズ工場の閉鎖を決定

ティンバーウェスト社は2月7日、BC州バンクーバー島キャンベルリバー市近郊に保有するエルクフォールズ工場を本年5月9日をもって閉鎖することを発表。同製材工場の生産能力は約42万 m^3 であるが、2007年の生産量は約22万 m^3 、出荷量の約80%は在来およびプレハブ住宅用部材として日本に輸出されていた。同社は2005年10月に工場売却の意思を表明し、買い手を探していたがこれを断念したもの。257人の労働者が失職することはキャンベルリバー地域経済に痛手。また、キャタリストペーパー社のパルプおよび製紙エルクフォールズ工場は同製材工場からのチップや鋸屑供給がなくなることで大きな影響を受ける。キャタリストペーパー工場は昨年8月下旬以来、伐採および製材工場のストのため原料手当が困難になったため、製紙ラインの一つをストップしている。

ティンバーウェスト社は2001年にバンクーバー島中部のユブ製材工場を閉鎖しており、今回エルクフォールズ工場を閉鎖することで加工部門から完全に撤退することとなる。BC州有林で年間70万 m^3 の伐採権を受けているが、エルクフォールズ工場の閉鎖でこれが削減もしくは取消になることも考えられる。同社が保有する334,000haはBC州では最大の私有林規模であり、今後はこの経営がコアビジネスとなる。社有林での2007年の丸太生産量は約220万 m^3 であるが、持続可能な水準は約270万 m^3 としている。BC州から日本向けの丸太輸出の最大のサプライヤーでもある。近年は不動産事業にも積極的に取組んでおり、向こう10-15年で16,000haを宅地やリゾート地として開発することを計画している。